

富津市部活動地域移行協議会会議録（要旨）

1 会議の名称	令和7年度第2回富津市部活動地域展開協議会
2 開催日時	令和7年11月11日（火）16時00分～17時40分
3 開催場所	富津市役所 5階 503会議室
4 審議等事項	議案第1号 富津市教育委員会地域クラブ認定要綱について 議案第2号 富津市休日部活動の地域展開に関する推進計画について 報告第1号 部活動地域移行について（南房総教育 事務所管内市町の状況について） 報告第2号 本市の現状について
5 出席者	〔会 長〕 教育部長 中山 淳子 〔委 員〕 スポーツ協会会長鈴木充、佐貫クラブ 会長周東和之、スポーツ少年団本部 部長吉本充、校長会代表磯部正史、長谷川潤、顧問代表菅野 拓也、小中体連代表高鍋元博、学識経験者多賀克之、保護者 代表川名宏幸、細谷学校教育課長、長谷川栄公民館長、川島 教育センター所長、池田教育センター指導主事 〔事務局〕 教育センター 池田圭佑
6 欠席者	篠田生涯学習課長
7 公開又は非公開の別	☒ 公開 ・ ☐ 一部非公開 ・ ☐ 非公開
8 非公開の理由	（理由）
9 傍聴人数	0 人
10 所管課	（部 課 係）教育部学校教育課教育センター （電話番号）0439－80－1346
11 会議録	別紙のとおり

(会議前諸連絡) 資料確認等

(開会の言葉)

(教育長挨拶)

(協議会会長挨拶)

報告、説明

(1) 南房総教育事務所管内の進捗状況等 (今宮コーディネーター)

- ① 地域クラブ活動に関する認定制度について
- ② 市原市、袖ヶ浦市、木更津市、君津市、鋸南町、南房総市、鴨川市、館山市の状況について説明

(2) 本市の現状について (事務局 池田指導主事)

- ① 富津市部活動地域移行協議会設置要綱の一部改正について
- ② 周知活動の進捗状況について
- ③ 中学校職員、保護者向けアンケートの結果について

議事

(1) 富津市教育委員会地域クラブ認定要綱 (仮称) の素案について (池田指導主事)

他市町のものをもとに参考にして素案を作成 本協議会の協議と、今年12月にスポーツ庁・文化庁から出される地域クラブ活動の在り方及び認定制度に関する新たなガイドライン骨子(案)を踏まえ、今後検討していく

(2) 富津市休日部活動の地域展開に関する推進計画 (案) について

① 重点目標

- 外部指導者(無償)の人数を増やし、教員の負担軽減と地域人材の活用に取り組む
- 部活動指導員について各校で1人以上、配置を継続する
- 行政認定型地域クラブの様式を整え、市内のスポーツ少年団等に声をかけ、地域クラブとして活動できる団体を増やす
- 学校、地域、スポーツ少年団等へ訪問説明、HP等で発信を行う

② 取組事項

- 部活動外部指導者(無償)・・・令和13年度末までに各部活動で1人以上運用する
- 部活動指導員・・・令和8年度からは市内4名を検討(予算要求)
- 行政認定型地域クラブ・・・行政認定型地域クラブの仕組みを整え、団体を募集する
- 情報発信・・・学校、地域、スポーツ少年団等へ訪問説明、HP等で発信を行う

(3) 質疑、意見等

(1) の富津市教育委員会地域クラブ認定要綱 (仮称) の素案について

ア 国の方針がまだ分からない中で難しい

どこまで市が予算化するか、大会参加へのハードルが高い、など課題が多い

イ 概要はわかるが、子どもの数が減少していく中で、市内の範囲だけで成り立つのか

ウ 仕組みを作ったとき、どの程度クラブが認定されるか、予測はあるか

エ 文化部はどうなっていくのか

オ 部活動の持つ教育的意義を大事にする中で学校と生徒の情報共有をするのは大切だが、具体的にどのように共有するのか

カ スポーツ協会では、ジュニアの育成について力を入れて欲しいと周知をしているが、実際にジュニア世代向けに取り組んでいるクラブは少ない

(2) 富津市休日部活動の地域展開に関する推進計画（案）について

ア 認定型クラブの構成員の想定を学校単位とするのは、難しいのではないかと

イ 平日と休日の兼ね合いが難しい

どのような在り方にするのか、試行錯誤が必要

ウ 柔軟な発想で考えていくのがよい

(閉会の言葉)